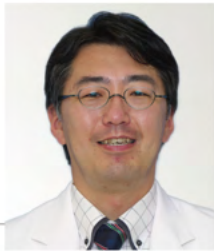


## JACR委員会報告 広報委員会の活動と 今後の方針

● 松坂 方士 理事

弘前大学医学部附属病院医療情報部

杉山 裕美 放射線影響研究所  
福留 寿生 三重大学医学部附属病院がんセンター  
片山 佳代子 神奈川県立がんセンター臨床研究所  
田淵 健 東京都立駒込病院  
阪口 昌彦 神奈川県立がんセンター臨床研究所



これまで、広報委員会はニュースレターの発行を通して各都道府県がん登録室やがん登録データを利用した疫学研究の紹介、協議会の内外からがん対策の今後に関するご寄稿をいただくなど、会員の皆さまのがん登録運営に役に立つ情報を発信してきました。また、協議会ホームページの内容を見直し、がん対策の基盤であるがん登録の重要性をアピールすることにも努めています。

がん登録等の推進に関する法律の施行に伴い、都道府県は精度向上の一步先であるデータ利用まで整備する必要があります。また、「全国がん登録における個人情報保護のための安全管理措置マニュアル」に従った安全管理とそれに基づいて実施される外部監査への対応も求められています。

広報委員会ではこのような状況を踏まえて、ニュースレターにおいて以下の連載を開始しました。

データの解釈に役立つ統計の知識 ~基本的な落とし穴とその対策~  
都道府県における安全管理 ~外部監査で慌てないために~

昨年度の学術集会から協議会が新しい分野として取り組んでいる院内がん登録についても、協議会の内外からニュースレターへのご寄稿をいただきながら情報交換を推進していきたいと考えています。将来的には、広報委員会が都道府県の全国がん登録実務者と院内がん登録実務者の橋渡しをしつつ、双方に必要なデータ集計と報告書等への活用方法の紹介、登録実務に必要な知識の周知などの役割をニュースレターが担っていければと期待しています。また、今年度からニュースレターの発行は年2回に戻りましたが、院内がん登録はこれまで協議会が経験したことのない規模の情報提供相手であり、タイムリーな対応が必要なことから、メールマガジン形式などによる情報提供も検討しています。

広報委員会ではSkypeを利用して適宜意見を交換しています。会員の皆さまから「このような情報が欲しい」というご意見をいただければ、ぜひ検討させていただきたいと考えております。

## JACR委員会報告 [教育研修委員会]

● 大木 いずみ 副理事長

栃木県立がんセンター

杉山 裕美 放射線影響研究所  
伊藤 秀美 愛知県がんセンター研究所  
寺本 典弘 四国がんセンター  
福留 寿生 三重大学医学部附属病院がんセンター  
海崎 泰治 福井県立病院

登録データの質の向上を目指し、JACR活動ならではの教育研修委員会の取り組みを紹介します。



教育研修委員会のメンバー

がん登録推進法によって、完全性や標準化が進み全体的にがん登録データの質は確実に向上しました。まだ2016年診断症例の集計はできていませんが大きく期待されます。一方で、仕組みや制度を作ればがん対策に用いるデータが自動的に収集され、ひとりでの集計できると思う人がいるかもしれません。しかし、せっかくの仕組みや制度は、丁寧にこれらを運用し、「人」が使いこなさないことには、正しいデータは蓄積しません。

このようにがん登録に携わる人々は縁の下の力持ちかつ責任重大です。その職務を全国的に支え合って向上させるために、JACRでは研修会やがん登録手引きの更新、表彰制度、日本公衆衛生学会への参加、国際研究(CI5五大陸のがん罹患やCONCORD研究)へのデータ提出サポートなど様々な事業を展開しています。

メンバーも昨年からは福井県立病院の海崎先生を加えてさらにパワーアップしました。

これからは、院内がん登録を含めて、一方的ではなく相互での情報共有や交換も積極的に行いたいと思っています。



海崎先生